



## とっても素敵な子どもたちを紹介します！

八海山が雪化粧し、吉田小の木々も葉を落としています。校庭は沢山の落ち葉で埋まります。・・・今年も3・4年生の子どもたちを中心とした落ち葉集めボランティアの活動が始まりました。子どもたちは「おはようございます！」と元気に登校すると、各々熊手を手に落ち葉集めに取組みます。最近、管理員さんがいなくてもそれぞれが作業を行い、落ち葉の山を作ります。「ありがとうね！」と声をかけると、子どもたちの顔にはやる気がみなぎります。この日は、風が吹いて落ち葉が



たくさん。子どもたちは昼休みにも出動し活動していました。秋風に吹かれ顔や手は冷たくなりますが、心はホカホカ温まります。・・・作業に参加している子どもたちは、自分が役に立っているという充実感、感謝される喜び、働く楽しさを感じ取っているはず。そして何より自分の意志によって行動していることが素晴らしい。

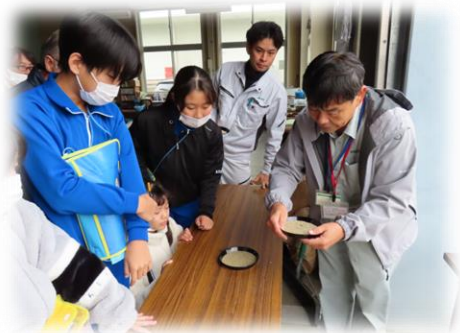
何気ない日常の風景ですが、このような学び(経験)の場が沢山ちりばめられている吉田小学校は本当に素晴らしいと思います。

## 環境整備作業へのご協力ありがとうございました

11月9日にPTAの皆様から降雪期に向けての環境整備作業を行っていただきました。遊具やネットがきれいに片付けられ、雪への備えが整いました。すがすがし秋晴れの下、手際よく作業を進めていただきました。ご協力に心から感謝いたします。



前庭は学校だけでなく地域の公園としても皆様にご活用いただいております。今年度は残念ながら回旋棟が撤去されてしまいましたが、その他の遊具で楽しく遊ばせていただきました。春になって雪が解けたら、また元気に遊具で遊んでほしいと思います。



## 吉田の米は最高です。本当にうまかった・・・

11月15日JAうおぬま精米センターに、吉田小学校のお米2俵の検査に行ってきました。水分量は15.4%で少し多目ながらも、合格。整粒は71%でこちらも合格で1等米と判定されました。また、食味検査の結果はSランクと判定されました。最高の評価をいただき子どもたちはみんな大喜びでした。

先日クラブの時間に「吉田小の米」と「高柳棚田のコシヒカリ じょんのびの里」を飯盒で炊いて食べ比べを行いました。私は、吉田小のお米の方が、甘みがあり明らかにおいしく感じました。

子どもたちは自分たちの米に自信を深めることができました。

今後しっかりと準備を進め、雪まつりの販売活動で吉田の米の素晴らしさをアピールしたいと思います。



## 大収穫祭特集・・・子どもたちの成長と保護者地域の素晴らしさを感じました

### <1・2年生の巻>

1・2年生は、おもち用のきな粉に加え今年はいんこづくりにも挑戦しました。また、ポップコーンはカレー味やココア味などいろいろな味が選べるように工夫しました。大豆も小豆もポップコーンも、1・2年生が春に畑に種を植えて育てたものです。これらの作物は夏野菜とは違い、収穫まではあまり手間がかかりませんが、収穫後は、「大豆や小豆は茎からさやをもぎ、さやの中から豆を取り出す」「ポップコーンは軸から粒をはずす」活動が大変でした。しっかり乾燥させていよいよ試作です。今年は昨年度の失敗を生かして、おばあちゃんたちの力を借りました。おかげで、おいしいきな粉やあんこができました。

大収穫祭の当日には、ポップコーンを作りました。子どもたちは自分ができる事をさがして作業に取り組みました。どんどん手際もよくなり、1時間で目標の1.2kgのポップコーンを作ることができました。全校のみんなやお客さんに喜んでもらおうと張り切って作る姿は、とても頼もしかったです。



### <3・4年生の巻>

3・4年生は、昨年の収穫祭でお店を出せなかった悔しさをバネに、春からサツマイモ栽培を行い、準備を進めてきました。サツマイモを使った料理は何がいいか話し合い、試作を繰り返し、大学芋のお店を開くことにしました。大学芋のつくり方もいろいろと試しました。サツマイモの切り方、焼き方や、味の付け方、食べやすいパッケージなどにもこだわり、「これだ!」という一品にたどり着きました。また、当日に向けて、顔出しの看板を作ったり、発表の練習をしたりと一人一人が主体的に取り組みました。

大収穫祭の当日は、大盛況!保護者や地域の皆さんが、大学芋をおいしいと言って食べてくださり、子どもたちは大喜びでした。一人一人の充実した笑顔はとてもキラキラしていました。

実は、サツマイモを少し残してあるのです。今後、残したサツマイモを使って干し芋づくりに取り組む予定です。そして、雪まつりでお店を開いて販売活動をしたいと考えています。



## <5・6年生の巻>

5・6年生は、創立150周年式典が終わると、すぐに準備や練習を始めました。アントレプレナーシップ学習の発表・劇の続きの練習・会の進行やあいさつの練習・看板や表示の準備など、前日までにやるべきことがたくさんありました。また、前日準備では、体育館にブルーシートを敷き、その上に16台ものテーブルを運んでセッティングをしたり、臼と杵をきれいにあらったり、10升ものもち米を洗って浸水させたりと大忙しでした。そんな状況の中でも、子どもたちは、常に前向きに楽しそうに、しかも丁寧に自分の仕事を進めていました。

当日は、豚汁の野菜切りを行いました。あまりの手際よさにびっくり。あっという間に終わってしまいました。その後は、豚汁・餅つき・お茶の3チームに分かれて準備を行いました。餅つきチームは、餅をつくだけでなく餅をちぎったり、あんこ・きなこ・砂糖醤油に混ぜたりすることができました。お茶チームは、事前に器の中に抹茶を入れておき、ボランティアの方がいらっしゃったら、すぐにお茶を立て、ふるまうことができました。豚汁チームは、完成した豚汁をみんなに配膳する仕事のお手伝いことができました。昨年度は、ほとんどおうちの任せだったのですが、今年度は、自分たちも準備に参加することができたため、「参加者の皆さんに、おもてなしをしている。」という実感を味わうことができました。



吉田小HP  
大収穫祭  
特設  
ページへ



**ボランティアの皆様・職員の感想や反省は、HP（右上の二次元コード）からご覧いただけます**   
<保護者から寄せられた感想の中からいくつか紹介します・・・>

1・2年生はポップコーンづくりの際、一人一人が自分の役割をしっかりとこなし、集中して作っていました。作るうちにどんどんと上手になり、手際の良さに感心しました。「こうすると作りやすいよ。」と子ども同士のアドバイスを受け、より良く工夫している姿も印象的でした。販売では、お店が作られ、楽しく積極的に働いていました。自分たちで育て収穫し、人を喜ばせるという経験ができ、貴重な学びとなったと感じます。餅つきの際「楽しいねえ。」という地域の方からの言葉は印象的でした。子、親、祖父母が繋がって楽しい時間を創る、『学校でできる新しい形』を感じました。

本当に素晴らしい行事だなと実感しました。まず、子どもたち一人一人が自分の役割を意欲的に取り組んでいることにとっても喜びを感じました。「指示されて動かされている」「つまらない」という様子が全くなく、自分から次はこうしよう、次には何だろう？と自ら考え行動する姿を見ることができ本当に良かったと思いました。また、こんなにも地域の方が子どもたちのために集まってくれる温かさに、改めて吉田の良さを実感する機会となりました。

## <校長の感想・・・>

今回の大収穫祭は創立150周年の冠を付けたイベントとして、そして、今年度から取り組んでいるアントレプレナーシップ教育（起業家精神を育てる教育）の発表会として位置付けて実施しました。昨年の経験がとても生かされ、さらにパワーアップした素晴らしい大収穫祭になったと思います。

年間のカリキュラムに位置付けて、全ての学年が栽培活動や見学・調査活動、さらにはあすなる太鼓の活動やYOSHIDA祭への参加等全ての活動をこの収穫祭と繋げて取り組みました。子どもたちの「保護者や地域の皆さんを喜ばせたい！」という思いを、保護者や地域の皆様の協力によって実現させることができました。当日は、県教育委員会や市教育委員会から視察がありました。担当者の方が「様々な学校を見て回っていますが、こんなに素晴らしい取組は初めてです。」と話していたことが印象に残っています。

12月には県のキャリア教育研修会で吉田小学校の実践を発表します。しっかりと吉田小学校の素晴らしさを伝えたいと思います。

## 創立150周年記念プロジェクト「吉田小学校防災教育フェスタ」を開催しました。

創立150周年記念プロジェクトの最後を飾る「吉田小学校防災教育フェスタ」を開催しました。もともとは中越地震から節目の20年、能登半島など大きな地震が各地で発生している今、地震の恐ろしさや心構えを学ばせたいという思いがこのプロジェクトの出発点です。当初は避難訓練で起震車を体験させたいという課題からスタートしました。県が1台持っている起震車は呼べないことが分かり、国が持っている起震車を国土交通省北陸地方整備局と交渉し実現できることになりました。それならばと、十日町地域消防本部に協力を依頼し、はしご車、煙体験テント、水消火器を準備していただき、体験できることとなりました。地震が発生し、その後出火、煙の中を非難し、はしご車で救助され、消火器で火を消し止める。という一連の訓練が整ったのです。（学校でこんな避難訓練が実現することはまずありません…。）

当日は秋晴れの下、全校児童がたっぷりと様々な防災体験を行い、災害に対する意識を高めることができました。地域や保護者の方々も参加してくださり、様々な体験をしていただくことができました。私も人生で初めてはしご車の乗せてもらいました。地上25mからの美しい吉田地域の眺めに感動しながらも、これも、これが災害時だったなら…と想像し、この体験の機会のありがたさを実感しました。



### <12月の予定>

- 11日（水）地域子供会
- 12日（木）個別懇談①(5限授業)
- 13日（金）個別懇談②(5限授業)  
特設スキー部総会
- 18日（水）クリスマス集会
- 24日（火）2学期終業式・給食最終  
給食後下校13:20頃
- 25日（水）冬季休業～1/7迄



### <1月の予定>

- 8日（水）3学期始業式（給食有）  
集団下校14:50（担当職員引率）
- 10日（水）避難訓練（積雪時対応）
- 16日（木）PTA文化広報部会
- 17日（金）小中一貫教育計画訪問  
5限後下校
- 19日（日）中越ジュニアクロカン大会
- 25日（土）親善スキー大会（授業日）
- 29日（水）150周年記念誌部会

